

# MTP61 ユーザーマニュアル



MULTI-BAND WIRELESS

PROFESSIONAL MINIATURE

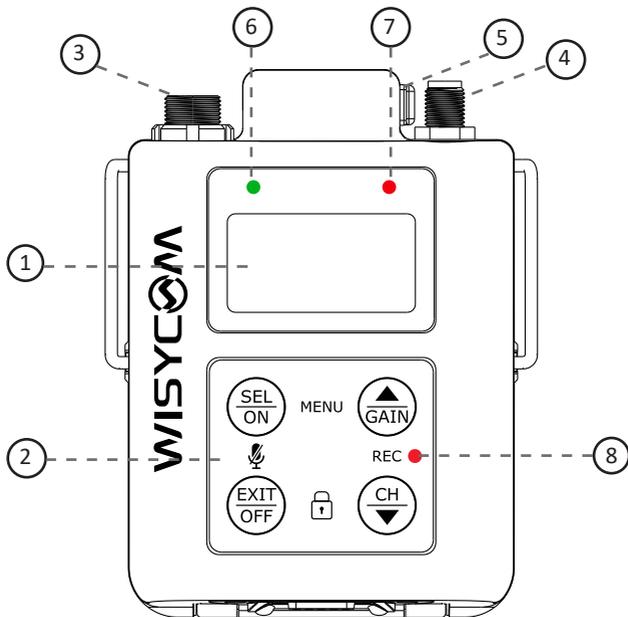
TRANSMITTER

マルチバンド ワイヤレス  
プロフェッショナル ミニチュア  
トランスミッター

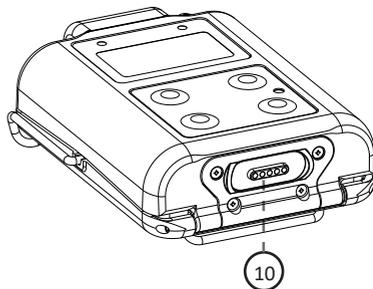
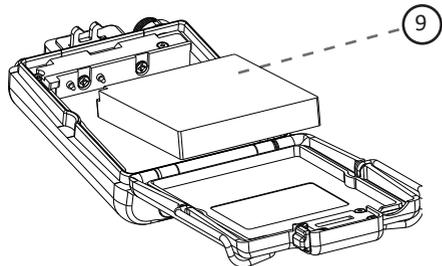
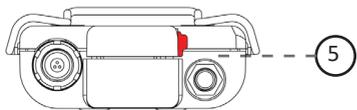
Rev.01 (ref. FW 1.4.0)

Date: 28th August 2023

製品概要



- |                                |                       |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. OLED ホワイト ディスプレイ(128x64 px) | 6. LED1 オーディオ用LED     |
| 2. セットアップボタン                   | 7. LED 2 RF、バッテリー用LED |
| 3. マイクコネクタ(LEMO 3Pin)          | 8. LED3 録音ステータス用LED   |
| 4. アンテナコネクタ(SSMA)              | 9. バッテリースペース          |
| 5. バッテリースペース オープンボタン           | 10. マグネティック5ピンコネクタ    |



## LED インジケーション

- LED 1 - オーディオインジケーション
  - 緑:オーディオモジュレーションが通常の範囲内
  - 赤:オーディオがピーク
  - OFF:オーディオがミュート
- LED 2 - RF、バッテリーインジケーション
  - 赤:電波が送信されていない状態
  - 緑:電波が送信されている状態
  - 赤がゆっくり点滅:バッテリー残量が25%以下の状態
  - 赤が素早く点滅:バッテリー残量が12%以下の状態
  - OFF:MTP61が電源OFFの状態
- LED 3 - レコーディングインジケーション
  - OFF:録音機能が動作していない状態
  - 赤:録音機能が動作している状態(Rec状態)

MTP61がバッテリーチャージャーのLBC61に接続されている状態にて:

- LED 1 - 充電のステータス
  - OFF:充電されていません
  - 緑:充電中
  - 青:充電完了

## SETUP CONTROL

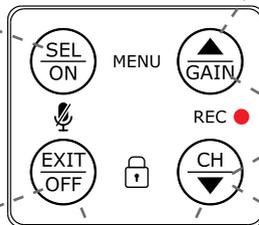
フロントの4つのボタンはメニューとクイックセットアップメニューにアクセスします

### SEL/ON:

- 電源OFF時に長押しすると電源がONになります
- ▲/GAINボタンと同時押しを行うとメニューにアクセスします
- メニュー選択時に一回押しと設定を保存します
- RF出力無効状態の電源ONの際、長押しをするとRF出力を有効にします

### UP/GAIN:

- メニュー時に押しと上にカーソルが移動します
- ホーム画面時に押しとゲインメニューに入ります



### GAIN + CH:

同時に押しとレコーダーメニューに入ります

### EXIT/OFF:

- 電源ON時に長押しすると電源がOFFになります
- メニュー時に押しとメニューの階層が戻ります
- 電源OFF時に長押しすると電波が無効の

状態で電源ONになります

### DOWN/CH:

- メニュー時に押しと下にカーソルが移動します
- ホーム画面時に押しとチャンネルセットアップメニューに入ります

### EXIT + CH:

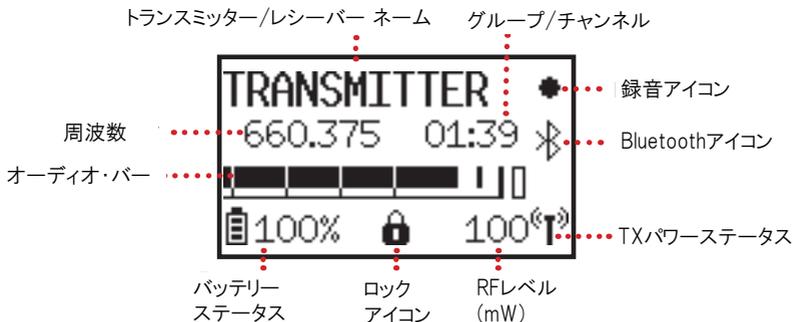
同時に押しとパネルロックの有効/無効の設定が出来ます

## POWERING UP

SEL/ONボタンを長押しすると電波が有効な状態で電源がONになります  
(EXIT/OFFボタンを長押しすると電波が無効な状態で電源がONになります)

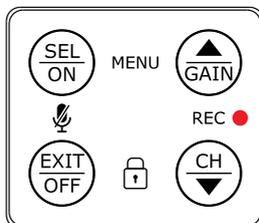
## STATUS menu

電源がONになった後主なステータスが表示されます:



ホーム画面で4つのボタンによってトランスミッターの主なメニューにアクセスが可能です

- **GAIN** オーディオゲインレベルの調整が可能
- **CH** 周波数の設定が可能
- **UP+DOWN (REC)** 録音の開始/停止、タイムコードの同期が可能
- **EXIT+DOWN (LOCK)** パネルロックの有効/無効が可能
- **SEL+EXIT (MUTE)** ミュートのON/OFF



## SETUP menu

SEL/ONボタンと▲/GAINボタンを同時に押すとセットアップメニューに入ります

▲/GAIN、▼/CHボタンで設定したいメニューにカーソルを移動させSEL/ONボタンで選択します

MTP61は設定を保存する場合はSEL/ONボタンを短く押します

設定を保存する為に長押しをする必要はありません

EXIT/OFFボタンを押すとセットアップメニューが終了できます

設定した時間(15秒、30秒、60秒)ボタンが押されなければ自動的にパネルロックが有効になりディスプレイの下部に鍵のアイコンが表示されます

この設定は Setting > Display > Auto-lockメニューにてOFFに設定することも可能です  
パネルロックをOFFにする場合はEXIT/OFFボタンとCH/▼ボタンを同時に押します

## QUICK SETUP

- LEMO 3ピンコネクタにマイクを接続してください
- MTP61の電源を入れてください
- WISYCOMのレシーバーとBlue toothでシンクしてください
- 使用する周波数に適合したアンテナを接続してください(メニューのRF > Antenna)で確認して下さい
- マイクモードを設定してください(Audio > Mic Mode menu)マニュアルの下部に詳細を記載しております
- オーディオバーでピークを避けて、最大信号時のgainを設定します。  
最大ピークレベルが-6dB付近に設定してください。
- RFパワーを設定してください(RF > RF Power)
- タイムコードを同期して録音を開始してください

## OPERATING MENU

BT sync			
PRESET	Load	U1--/U2--/DPA...	
		/Factory	
	Save	U1--/U2--/DPA...	
	Active	Factory/...	
RF	Freq	Frequency/GR/CH	
	RF Power	OFF/10/10L/20/20L/50/100mW	
	Antenna	507/560...	
AUDIO	Gain	-20 to +26 dB	
	Ch. Mod.	Wide/Narrow	
	HPF	FLAT/45/60/80/120/170/240	
	Mic Mode	2W/2W+B/3W/AUX	
	PTT	Disabled/Mute/ON	
	Phase	0/180	
	Limiter	OFF/ON	
	Cal Tone	Cal. Tone	OFF/ON
		Frequency	1000 Hz /400 Hz
		Level	-20 dB
RECORDER	REC	OFF/ON	
	Elapsed	hh:mm:ss	
	Remaining	hh:mm:ss	
	Timecode	hh:mm:ss	
	TC setup	Jam	OFF/Running
		Source	Wire/Tentacle
		TC	hh:mm:ss
		TC ext	hh:mm:ss
		FPS	23.98/24/25/29.97/29.97DF/30/30DF/50/59.94/59.94DF/60
		Ubits	SMPTE/mm.dd.yy/dd.mm.yy/mm.dd.yyyy/dd.mm.yyyy
		Time	hh:ss:mm
	Date	mm:dd:yyyy	
	Bit Depth	24/32 bit	
	SD Card	Name by	Sequence/Scene&Tk
		Scene	1-99
Shot		none/A-Z	
Take		1-99	
Format		"warning..."	

SETTINGS	BT	Pwr	Yes/No	
		Mode	Wisycom	
		Pairing	Yes/No	
		Passcode	Yes/No	
		Reset Dev	...	
	Name	Transmitter (8 char)		
	Battery	% / time		
	LED	Brightn.	OFF, from 1 to 5	
		Mode	Full/Alarms/PTT	
	Display	Brightn.	from 1 to 5	
		LOW	from 5 to 60 sec	
		OFF	from 10 to 120 sec (10 sec step) / OFF	
		Direction	Up/Down	
Auto-lock		60 sec/30 sec/15 sec/OFF		
INFO	FW	Version	v1.4.0	
		BL	v1.3.0	
		DSP	vX.Y	
	Serial	09900004		
	Range	470-1075		
	Band	B1		
	HW	Country	US	
		Main rev.	0:02	
		Main opt.	1	
		Options	...	
	Profile	US/EU/CA		
	STD	depending on the country		
	Battery	Level	90%	
		Time	6h:47m%	
		Voltage	3,79V	
		Current	194mA	
	Model	Temp	26 C	
Model		MTP61		
Alarms	0			

## BT sync

WISYCOMのレシーバーとBlue toothでシンクする為にBT Syncを有効にしてください  
この機能は下記のレシーバーにて互換性があります

- MCR54 (fw v2.4.0)
- MCR54-DUAL (fw v2.4.0)
- MRK980 (new fw in progress).

WISYCOMのレシーバーとシンクを行うと下記のパラメーターが同期されます

- 周波数、グループとチャンネル
- コンバンダー
- レシーバーの名前

レシーバーとシンクを行った際、MTP61に設定されているモジュレーションタイプ(WB/NB)がレシーバーと合っていない場合レシーバーのディスプレイに警告が表示されます

## PRESET menu

MTP61は設定を保存したプリセットを飛び出す事が出来ます:

- "Factory" WISYCOMの工場出荷時の設定を呼び出します
- "USER" 保存された設定を呼び出します(U1~U8 8パターン)

## RF menu

RF	
Freq	...
RF power	OFF
Antenna	507

**Freq** グループ/チャンネル/周波数を設定します

Fr:	470.000
Gr:	04 GROUP 04
Ch:	02
Max	100mW

送信機で設定された電力プロファイルに基づいて  
選択できる最大電力レベルを確認してください\*

MTP60Iには、それぞれ60チャンネルと40グループがあります。ワイヤレスマイクアプリケーションの一般的な用途には十分な数です。

WISYCOM MANAGERソフトウェアを使用してコンピューターに接続すると、単一のチャンネルまたはチャンネルの完全なグループを非表示にすることができます。非表示にすると、これらのアイテムはチャンネルまたはグループの選択に表示されなくなります。非表示のチャンネルまたはグループを表示するには、WISYCOM MANAGERソフトウェアを再度使用します。

このソフトウェアを使用すると、チャンネルまたはグループをロックすることもできます。

チャンネルがロックされている場合、送信機の表示メニューから周波数を変更することはできません。

グループをロックすると、すべてのチャンネルがロックされます。チャンネルまたはグループがロックされると、周波数の左側にロックアイコンが表示され、周波数が編集できないことを示します。

**RF Power** RFパワーレベルの設定です。(10, L10, 20, L20, 50, OFF[トランスミッター無効])

LED2は、送信機がチューニングされ、RFパワーがオフに設定されている場合、赤色に固定され、送信機がチューニングされ、RFパワーがオフでない場合、緑色に固定されます。

RFパワーのレベルを上げるとカバレッジが向上しますが、消費電力も増加し、小規模な環境では相互変調の問題が発生する可能性があります。

\*送信機は、MTP60の販売国で施行されている規制に準拠できる電力プロファイルで工場プログラムされ、これは選択可能な周波数と許可される最大電力レベルを制限します。

L10またはL20レベルを使用して、10mWまたは20mWの電力を設定し、リニアテクノロジーを有効にします。スペクトルが制限されており、周波数を近接して配置する必要がある場合は、リニアが推奨されます。これにより、等間隔の周波数（400kHz（広帯域）または200kHz（狭帯域 | 高密度）ごとに配置）を操作できます。L10およびL20レベルの消費電力は、レベル100mWの消費電力に匹敵することに注意してください。

**Antenna** 接続されているアンテナモデルを確認できます。モデルは、アンテナキャップの近くのラベルに記載されています（例: 507）。この数字はバンドの中央周波数です。

Label	Band MHz
507	470-547
590	547-663
552	510-595
646	595-698
710	663-760
796	760-832
808	806-810
950	940-960
1K1	960-1160
1K2	1240-1260



備考: 周波数が高くなると、アンテナの長さが短くなります（したがって、高周波には短いアンテナを使用し、低周波には長いアンテナを使用します）。

## AUDIO

**Gain** オーディオインプットの感度を設定します

このメニューには、▲/GAIN ボタンを押して、ステータスメニューから直接アクセスできます。

適切なオーディオ ゲイン設定を支援するために、オーディオピーク (0dB、公称偏差40KHz) までのヘッドルームを示すオーディオオーバー (最大ピークインジケータ付き) が提供されます。

オーディオオーバーのピークを避けて、最大入力信号でゲインを設定します。

最大ピークホールドバーが-6dB近くになるように設定してください。

ゲインの設定は-20dB～26dBで設定可能です (1dBステップで設定可能)

**Ch. Mod.** | ナローバンドとワイドバンド間の変調タイプを設定できます。これはMTP61の占有スペクトラムを減衰または拡張します。

送信機がWidebandに設定されている場合、オーディオ帯域幅は20KHzに制限され、ピーク偏差は±56KHzに設定されるため、占有帯域幅は約150KHz になります。

トランスミッタがNarrowbandに設定されている場合、オーディオ帯域幅は17KHzに制限され、ピーク偏差は±35KHzに設定されるため、占有帯域幅は約100KHz になります。

Narrowbandに切り替えると、受信機のRF感度が3dB向上します。

備考: 受信機チャンネルを送信機と同じ変調設定に設定してください。

例: WidbandかNarrowband

**HPF** オーディオ信号のハイパスフィルターの設定です。(FLATはフィルター無しの意味)

**Mic Mode** オーディオマイク接続の設定です。

次のMicモードを設定できます。

- 2W(2wires): 外部オーディオ入力(PTT可能)
- 2W+B(2wires+bias): ほとんどの2wiresマイク(PTT可能)
- 3W(3sires): ほとんどの3wiresマイク(PTT不可)
- AUX: ハイインピーダンス入力

備考: MTP61はファンタムアダプター”PHA60”は使用できません

**PTT** PTTアクセサリが押されたときの動作を設定できます。

PTTがMuteに設定されている場合、Push to Talkボタンを押すと音声ミュートされます。

PTTがオンに設定されている場合、Wisycocomレシーバーは、レシーバーに設定されたトーンスケルチマトリックスに従ってオーディオレーティングを行うことができます(詳細は、レシーバーのユーザーマニュアルを参照ください)。

**Limiter** リミッター機能を有効または無効にします。リミッターが有効で、オーディオ入力レベルが高すぎる(オーディオオーバーのレベルがピークに達した)場合、送信機はオーディオレベルを自動的に調整して歪みを回避します。

**Cal. tone** キャリブレーショントーンを有効にすることです。CALIBRATION TONE機能は、

特定の周波数(400Hzまたは1000 Hz)でオーディオ入力への-20dBレベルでトーンを生成します。

キャリブレーショントーンの例 – DPA 40xxは通常、2W+B設定にて、マイクに必要な5Vを供給するバイアスで使用します。インタビューで利用する場合に設定する推奨初期値は-6dBです。(設定範囲は、-40dB~+26dBです。)

例 – 出力レベルが高い楽器で利用する場合の推奨初期設定ゲインは-23dBです。

## RECORDING

MTP61は工業規格の頑強な64GBのmicro SDカードが内蔵されています

MTP60は、exFATフォーマットされたSDカードに記録します。  
フォーマットするには”Recorder>SD Card>Format”にて行います



「SEL/ON」を押してカードをフォーマットし、プロセスが完了するまで数秒待ちます。  
フォーマット中は送信機の電源を切らないでください。



カードが正しく検出されると、メインメニューの右上にカードアイコンが表示されます。



..... SDカードアイコン

録音を開始するには、RECORDINGメニューに入り、RECをONに設定するか、録音ショートカットを使用して▲と▼を同時に押し、STARTを押します。

記録中に誤ってバッテリー ドアが開いたり、バッテリーが切れたりした場合、送信機はイベントの最大15秒前までファイルを自動的に保存します。送信機が同じSDカードを挿入した状態で再起動すると、記録ファイルはデータを失うことなく完全に復元されます。

備考:

MTP61は2TBまでのEX-FATをサポートします

記録されたオーディオデータは圧縮されていない完全な品質です

例:

24Bit、48,000Hzに設定した場合、144,400bytes/毎秒となり、1時間でおおよそ520MBとなります

## Recording short cut:

▲と▼を一緒に押して、クイックRECORDINGメニューに入ります。



▲、▼ボタンを使用して、START/STOPとJAM機能の間でカーソルを移動します。  
SELボタンを押して機能を有効にします。

MTP61は、48kHzのサンプリングレートで32ビットフロート RF64WAV (4 GB 以上) ファイルを記録します。  
ビット深度は、Recorder > BitDepthメニューで24ビットに変更できます。

ファイル名の形式は、「トランスミッターネーム-〈連番〉.WAV」または「トランスミッターネーム  
T<トレース番号>S<連番〉.WAV」となります。  
すべてのファイルはトランスミッターネーム名のフォルダーに記録されます。

例:

トランスミッターネーム: PAUL LEE

レコーダトレース4は、PAUL LEE-0004.WAVという名前でも PAUL LEEフォルダに保存されます。

## Jamming Timecode

MTP61は、外部LTCソースをケーブル経由もしくはTentacle Sync-Eを用いてBluetooth経由でのタイムコードを受け入れます。

Recorder > TC Setup > Source メニューでケーブル経由もしくはTentacle Sync-Eを設定できます。

タイムコード値とフレームレートは、着信LTCソースから取得されます。

同期されたタイムコード値は、電源を切ってから最大6時間(内部にバッテリーがある場合)、または、バッテリーを取り外してから最大 1 時間保持されます。この時間内にバッテリーを交換すれば、タイムコードが保持されます。

タイムコードをjam(同期)するには:

- 有効なLTCソースをMTP61のLEMOオーディオコネクタに接続します。
- Recorder>TC setupメニューに入り、JamをONに設定するか、▲と▼を同時に押してRECORDINGのショートカットメニューを使用して、JAM機能をアクティブにします。

TCオーディオケーブル用のピン配:

LEMO 3pin〜Stereoジャックコネクタ付きオーディオケーブル

- LEMO pin 3 (AF) to the Left (tip) of Stereo jack

- LEMO pin 1 (GND) to the Ground (sleeve) of Stereo jack

LEMO 3pin〜BNCコネクタ付きオーディオケーブル

- LEMO pin 3 (AF) to the BNC center pin

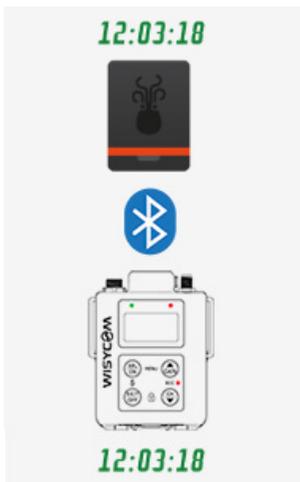
- LEMO pin 1 (GND) to the BNC shell

**Tentacle Sync-EとのBlue tooth Jamの方法**

- Tentacle Sync-EをMTP61の近くに置いてください
- ▲、▼ボタンを押してRecordingメニューに入りカーソルをJamにしてSEL/ONボタンを押してください  
もしくはRecorder > TC SetupにてJAMをRunningにして下さい
- Jamが完了するまでしばらくお待ちください

**備考:**

事前にBlue toothを起動させる必要はありません



## SETTINGS

以下のオプションを設定できます。

- Bluetoothインターフェースの電源オン/オフ
- トランスミッターの名前の設定
- バッテリー、LED、ディスプレイの各種設定

## INFO

このメニューを使用して、送信機に関する情報（シリアル番号、周波数範囲、ファームウェアおよびハードウェアのバージョン）とそのステータス（電圧、温度、およびアラーム）を確認します。

## BATTERY

MTP61はリチウム電池パック（モデル:CS-BCE10 パーツナンバー CGA-S008E 3.7V、1,050mAh）で動作します

バッテリーの状態は、内部のOLEDディスプレイまたは前面のLED2の状態を確認できます。「Settings > Batteryメニューから、バッテリーの状態をパーセンテージで表示するか、残り時間の目安で表示するかを設定することができます。

## AUDIO CONNECTOR



3 PIN LEMO CONNECTOR (use FVB.00.003.NLN on Mic)

Mic Mode	Pinout	Impedance
2W (2 Wire)	1 = GND 3 = AF	7,15 KΩ
2W+B (2 Wire + Bias)	1 = GND 3 = AF + 5 V	3,9 KΩ
3W (3 Wire)	1 = GND 2 = 5 V 3 = AF	7,15 KΩ
AUX (high impedance input)	1 = GND 3 = AF	36 kΩ

## TECHNICAL SPECIFICATION

周波数帯域幅	660 – 714MHz帯、806 – 810MHz帯、1,240 – 1,260 MHz帯
切替可能なチャンネル	カスタマイズ可能な40グループの60周波数で管理できる2400チャンネル
スイッチングウィンドウ	帯域に応じて最大362MHz
周波数	クォーツPLL周波数シンセサイザ回路(5kHzステップ)
周波数エラー	±2.5ppm、定格温度範囲内において
RF電力	10mW / L10W/ 20mW/ L20mW / 50mW / (20mW、L20mW、50mWは1.2GHzのみ)
アンテナ コネクター	SSMA
変調	FPGAベースのデジタルプロセッシングによるワイドバンドとナローバンド
公称偏移	±40kHz ワイドバンド / ±25kHz ナローバンド
ピーク偏移	±56kHz ワイドバンド / ±35kHz ナローバンド
スプリアス放射	2nW以下
テレメトリ機能	TXは、次の用途に適したデジタル変調サブキャリアも送信します。 ・ トーンスケルチ操作 / ・ リモートバッテリー監視 / ・ オプションのPTT(プッシュトーク)操作
ノイズリダクションシステム	ENS – Wisycomウルトラハイパフォーマンスコンパクター
AF帯域幅	オーディオ周波数特性 (dBa): ・ Narrowbandで45Hz~17KHz (3dB) ・ Widebandで45Hz~20KHz (3dB)
歪み	< 0.3 % (0.15 % typ.)
SND/D 比(アナログ)	typ. 115dB(A)rms、40kHz偏差    typ. 偏差56kHzの広帯域で121 dB(A)rms typ. 115dB(A)rms、25kHz偏差    typ. 偏差35kHzの狭帯域で121 dB(A)rms
オーディオ入力コネクター	LEMO 3pin
オーディオ入力レベル	調整可能範囲 -40(12mV RMS)~+6dBu(15.5V RMS)、1dBステップ調整
最大入力レベル	クリッピングで +6dBu (15.5V)
ストレージメディア	内蔵 microSD メモリーカード 64GB
タイムコード	リニアタイムコードデコーディング
ビット深度	24bit/32bit floating
サンプリングレート	48 kHz
管理インターフェース	Bluetooth 5.2 ローエナジー ロングレンジ 特許防水マグネティックコネクター 5ピン(USB HS +power LTC)
LED	3 RGB LED オーディオ、RF、バッテリーステータス、バッテリー充電用
バッテリー残量表示	%で表示、または分/秒で表示
PTT機能	AFコネクターの3番ピンを外部プッシュボタンにセットアップ可能
ディスプレイ	ハイコントラストOLED白色ディスプレイ (128x64ピクセル)
電源	Cameron Sino Lithium-ion battery Model CS-BCE10 Part No. CGA-S008E (3.7V, 1050 mAh)
消費電力	250mA@ 3V average(display off, 100mA power)
バッテリー駆動時間	:10mWで約8時間
温度範囲	-10°C ÷ 55°C
寸法	66,8mm x 47mm x 17mm (HxWxD) クリップは除く
重量	約72g バッテリー無し (94g バッテリー含)

## CONFIGURATION

MTP61-<Contry range>

Country range:

**EU:** 470-832 MHz, Max power 50mW

**EUX:** 470-832 MHz, Max power 100mW

**UK1:** 470-663 MHz, Max power 100mW + 960-1075 MHz, Max power 50mW

**UK2:** 510-698 MHz, Max power 100mW + 960-1075 MHz, Max power 50mW

**US\*:** 470-608 MHz,Max power 100mW+614-663 MHz,Max power 20mW+940-960 MHz,Max power 100mW

**CA:** 470-608 MHz,Max power 100mW+614-663 MHz,Max power 20mW+940-960 MHz,Max powe 100mW

**KR:** 510-698 MHz, Max power 100mW + 925-937,5 MHz, Max power 10mW

**JPx:** JP1 (660-714 MHz, Max 10mW), JP2 (806-810 MHz, Max 10mW), JP3 (1240-1260 MHz, Max 50mW)

**MX:** 470-608 MHz, Max power 100mW+614-832 MHz,Max power 100mW

*\*Simultaneous recording and wireless transmission is not available on transmitters sold in the USA*

## ANTENNA RANGE & CONFIGURATION

Ant Label	Code	Band MHz
507	<b>AWSS-507</b>	470-547
590	<b>AWSS-590</b>	547-663
552	<b>AWSS-552</b>	510-595
646	<b>AWSS-646</b>	595-698
710	<b>AWSS-710</b>	663-760
796	<b>AWSS-796</b>	760-832
808	<b>AWSS-808</b>	806-810
950	<b>AWSS-950</b>	925-960
1k1	<b>AWSS-1K1</b>	960-1160
1K2	<b>AWSS-1K2</b>	1240-1260

MTP61 is supplied with

- 2 Lithium battery Model CS-BCE10
- 1 wire belt clip (BCLW61)
- antenna kit: according to the configuration of MTP61 the following kit antennas are supplied:

**MTP61-US and MTP61-CA**

AWSS-507 (470-547 Mhz)

AWSS-590 (548-663 Mhz)

AWSS-950 (940-960 Mhz)

**MTP61-UK1**

AWSS-507 (470-547 Mhz)

AWSS-590 (548-663 Mhz)

AWSS-1K1 (960-1160 Mhz)

**MTP61-KR**

AWSS-552 (510-595 Mhz)

AWSS-646 (595-698 Mhz)

AWSS-950 (940-960 Mhz)

**MTP61-UK2**

AWSS-552 (510-595 Mhz)

AWSS-646 (595-698 Mhz)

AWSS-1K1 (960-1160 Mhz)

**MTP61-EU / MTP61-EUX / MTP61-MX**

AWSS-507 (470-547 Mhz)

AWSS-590 (548-663 Mhz)

AWSS-710 (663-760 Mhz)

AWSS-796 (760-832 Mhz)

**MTP61-JP1/JP2/JP3**

AWSS-710 (660-760 Mhz) or

AWSS-808 (806-810 Mhz) or

AWSS-1250 (1240-1260 Mhz)

## MANUFACTURER DECLARATIONS

In compliance with the following requirements: RoHS Directive (2002/95/EC)



WEEE Directive (2002/96/EC)

Please dispose of the diversity transmitter at the end of its operational lifetime by taking it to your local collection point or recycling center for such equipment



Battery Directive (2006/66/EC)

The supplier batteries or rechargeable batteries can be recycled. Please dispose of them as special waste or return them to your specialist dealer. In order to protect the environment, only dispose of exhausted batteries.



### ITALY ONLY

Obblighi di informazione agli utilizzatori

ai sensi dell'art. 13 del Decreto Legislativo 25 luglio 2005, n. 151 "Attuazione delle Direttive 2002/95/CE, 2002/96/CE e 2003/108/CE, relative alla riduzione dell'uso di sostanze pericolose nelle apparecchiature elettriche ed elettroniche, nonché allo smaltimento dei rifiuti"

#### Smaltimento di apparecchiature elettriche ed elettroniche di tipo professionale



Il simbolo del cassonetto barrato riportato sull'apparecchiatura o sulla sua confezione indica che il prodotto alla fine della propria vita utile deve essere raccolto separatamente dagli altri rifiuti.

La raccolta differenziata della presente apparecchiatura giunta a fine vita è organizzata e gestita dal produttore. L'utente che vorrà disfarsi della presente apparecchiatura dovrà quindi contattare il produttore e seguire il sistema che questo ha adottato per consentire la raccolta separata dell'apparecchiatura giunta a fine vita.

L'adeguata raccolta differenziata per l'avvio successivo dell'apparecchiatura dismessa al riciclaggio, al trattamento e allo smaltimento ambientale compatibile contribuisce ad evitare possibili effetti negativi sull'ambiente e sulla salute e favorisce il re-impiego e/o riciclo dei materiali di cui è composta l'apparecchiatura.

Lo smaltimento abusivo del prodotto da parte del detentore comporta l'applicazione delle sanzioni amministrative previste dalla normativa vigente.

#### Smaltimento batterie usate



Questo prodotto può contenere batterie. Questo simbolo apposto sulle batterie significa che non possono essere smaltite insieme a normali rifiuti domestici, bensì devono essere depositate negli appositi punti di raccolta delle batterie.

Iscrizione al Registro A.E.E. n. IT0910000006319



## Statements regarding FCC and Industry Canada

The Wisycom microphone pocket transmitter model MTP61 complies with the following requirements: FCC (Federal Communications Commission) Part 74.

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operations.

Changes or modification not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with part 15 of the fcc rules.

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note: the grantee is not responsible for any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance. such modifications could void the user's authority to operate the equipment.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

EN

This device complies with Industry Canada license-exempt RSS-123 and RSS-210 standard. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device. This radio transmitter IC: 11967A-MTP61 has been approved by Industry Canada to operate with the antenna types listed below with the maximum permissible gain and required antenna impedance for each antenna type indicated. Antenna types not included in this list, having a gain greater than the maximum gain indicated for that type, are strictly prohibited for use with this device.

FR

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence RSS-123 et RSS-210.

L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Le présent émetteur radio IC: 11967A-MTP61 a été approuvé par Industrie Canada pour fonctionner avec les types d'antenne é numérés ci-dessous et ayant un gain admissible maximal et l'impédance requise pour chaque type d'antenne. Les types d'antenne non inclus dans cette liste, ou dont le gain est supérieur au gain maximal indiqué, sont strictement interdits pour l'exploitation de l'émetteur.

Antenna types (50 Ohm impedance, max gain 2.1dBi): AWSS-507: band 470-547 MHz, AWSS-590: band 547-663 MHz, AWSS30-950: band 940-960 MHz.

This equipment complies has been evaluated for and shown compliant with the FCC and ISED RF Exposure limits. The unit of measurement for RF exposure is Specific Absorption Rate (SAR). The FCC SAR limits for is 1.6W/Kg per 1g of tissue. The maximum SAR levels tested has been shown to be 0.85 W/kg at head with 0mm of separation distance from the body.

This device operates on a no-interference, no-protection basis. Should the user seek to obtain protection from other radio services operating in the same TV bands, a radio license is required. For further details, consult Innovation, Science and Economic development Canada's Client Procedures Circular CPC-2-1-28, Voluntary Licensing of License-Exempt Wireless Microphones in TV Bands.

The FCC and IC identifier is visible in the display when the device is switched on and it is also available by accessing the Info>STD submenus.

## COMPLIANCE

Model	In compliance with	Range and max power	Country
MTP61-EU	EN 301 489-1/-9 EN 600065 EN 300 422-1/-2	470-832 MHz max 50 mW	Europe
MTP61-EUX*	EN 301 489-1/-9 EN 600065 EN 300 422-1/-2 EN 300 454-1/-2	470-832 MHz max 100 mW	Europe
MTP61-US	FCC PART 74 FCC-ID: POUMTP61	470-608 MHz max 100 mW 614-663 MHz max 20 mW 940-960 MHz max 100 mW	USA
MTP61-CA	RSS-123, RSS-102 IC:11967A-MTP61	470-608 MHz max 100 mW 614-663 MHz max 20 mW 940-960 MHz max 100 mW	Canada

The model “MTP61-xx” and conformity logos are shown on the external label and can be checked in the menu Info > STD (regulation standard).

**Before putting the device into operation, please observe the respective country-specific regulations!**

*\* MTP61-EUX is not an SRD device, thus it requires specific authorization by your local frequency authority!*

## SAFETY INSTRUCTION

- Read this safety instruction and the manual first
- Follow all instructions and information.
- Do not lose this manual.
- Do not use this apparatus under the rain or near the water.
- Do not install the apparatus near heaters or in hot environments, do not use outside the operating temperature range.
- Do not open the apparatus, only qualified service technician are enabled to operate on it. The apparatus needs servicing when it is not properly working or is damaged by liquids, moisture or other objects are fallen in the apparatus.
- Use only accessories or replacement parts authorized or specified by the manufacturer.
- Clean the apparatus only with dry cloths, do not use liquids.
- Report the serial number and the purchasing date in front of the manual. It is needed to have proper replacement parts or accessories from the manufacturer.
- When replacement parts are needed, use only replacement parts authorized from the manufacturer. Substitution with not authorized parts could result in electric shock, hazards or fire.
- Keep attention on all the labels with warnings or hazards on the apparatus.


**EU DECLARATION OF CONFORMITY**

We,

WISYCOM S.r.l.  
via Tiepolo, 7/E  
35019 Tombolo (PD) – Italy

declare under our sole responsibility that the product

*Model*  
*Description*

**MTP61**  
**Wireless Microphone Transmitter**

conforms to the essential requirements of the following European Directives and their associated norms:

Directive	Applicable Standards	Description
RADIO Directive 2014/53/EU (RED)	EN 300 422-1 v2.1.2	Wireless Microphones; Audio PMSE up to 3 GHz; Part 1: Class A Receivers; Harmonised Standard covering the essential requirements of article 3.2 of Directive 2014/53/EU
EMC	EN 301 489-1 v1.9.2	“ElectroMagnetic Compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 1: Common technical requirements; Harmonised Standard covering the essential requirements of article 3.1(b) of Directive 2014/53/EU and the essential requirements of article 6 of Directive 2014/30/EU
	EN 301 489-9 v2.1.1	ElectroMagnetic Compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 9: Specific conditions for wireless microphones, similar Radio Frequency (RF) audio link equipment, cordless audio and in-ear monitoring devices; Harmonised Standard covering the essential requirements of article 3.1(b) of Directive 2014/53/EU
Safety	EN 62368-1 2014	Audio/video, information and communication technology equipment — Part 1: Safety requirements (IEC 62368-1:2014, modified)
Human Exposure	EN 62311:2020	Assessment of electronic and electrical equipment related to human exposure restrictions for electromagnetic fields (0 Hz — 300 GHz)
RoHS	EN IEC 63000:2018	Technical documentation for the assessment of electrical and electronic products with respect to the restriction of hazardous substances

Date: August 28, 2023

Enzo Frigo, Technical Director

 **WISYCOM S.r.l.**  
Via Tiepolo, 7/E - 35019 TOMBOLÒ (PD)  
Tel. +39 0424 382806 - Fax +39 0424 382733  
sales@wisyc.com - www.wisyc.com  
P.IVA (VAT) / C.F.: IT 02765640244





**WisyCom srl**

Via Tiepolo, 7/E  
35019 Tombolo (PD) – Italy  
VAT# IT02765640244

Tel. +39 0424 382605  
e-mail : [sales@wisyc.com](mailto:sales@wisyc.com)